

令和6年6月定例会 一般質問 中谷一輝議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。(各議員からの「質問」(問)に該当する部分を黄色マーキングしております。)

「三橋新市長の方針等について」

○中谷一輝 議長のお許しを得ましたので、日本維新の会中谷一輝が一般質問を行います。

まず初めに、先月行われました市長選挙で三橋市長が6月3日より新しく市長として就任されました。誠におめでとうございます。

また、同時に行われました補欠選挙においても日本維新の会の野口議員が当選されました。おめでとうございます。

さて、市長が新たに替わられたことにより、やはり気になるのは、三橋市長は今後香芝市をどのように描いているのか、どのような考えで行政事務を行っていくのかが気になるところでございますので、市長が選挙のときに掲げられていた公約に沿ってお伺いさせていただきます。しかし、就任されてすぐの定例会ですので、まだ詳細など把握できていないと思うところもあると思いますので、現段階での考え方でいいので、よろしくお願いいたします。

それでは、大項目1、三橋市長の方針等について、中項目1、「子ども真ん中社会」の徹底推進についてをお伺いいたします。

現在は人口減少、少子化が進んでおり、国では何とか食い止めようと施策を打ち出していますが、劇的に改善するとは思えません。厚生労働省が6月5日に公表した2023年の人口動態統計の概数によりますと、合計特殊出生率は1.20でした。香芝市においても人口減少が予想されている中で、人口減少をどう食い止めていくのか、「子ども真ん中社会」とは一体どういうものなのか、限りある財源で様々な事業を行っていくかなければなりません、子供関係事業を最優先としていくということなのかを市長にお伺いさせていただきまして、壇上からの質問を終わります。

○市長 おはようございます。

ただいまの中谷議員のご質問にお答えいたします。

市政運営につきまして大きくどのように推進していくのかと、子供を最優先としていくのかというご質問であるかと承知をいたしますが、よろしいでしょうか。

選挙の際にも公約として掲げました「子ども真ん中社会」の徹底推進、これをしっかりと行ってまいりたいというふうに考えてございます。ただ一方で、子供を最優先という表現が正しいかどうかというのは、少し語弊があるようにもございまして、「子ども真ん中社会」の徹底推進をしながら、お年寄りもしっかりと大事にしていくと、あらゆる世代が恩恵を受けられる市政を展開してまいりたいというふうに考えてございます。

○中谷一輝 ありがとうございます。

子供最優先という、何か子供だけの、子供関係事業ばかりをやるというわけではなく、全体的に見て、バランスの取れて、しかもその中でも子育て世代を支援していくぞという捉え方でよろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。

では、その公約の中でも小・中学校の入学時の制服の無償化をしたいんだというふうにかかれていたと思うんですけども、そのことについては、じゃあいつぐらいから始めるのか、またどのような方法で始めていくのか、どのような方法で支給していくのかっていうのは、こちらは教育委員会のほうですかね。はい、よろしくお願いします。

○教育部長 標準服の無償化というところでございますけれども、令和7年度の入学生から無償化できるように、現在準備を進めているところでございます。市内各小・中学校の標準服の価格等を調査してございまして、適切な金額や、どうすれば合理的に保護者の手元に届いて、新しい新年度を迎えられるか、そういったことを今詳細に検討しているところでございます。

以上です。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

そこはしっかりと検討していただいて、例えば制服がない学校とかもありますし、私立に行っている方にはじゃあどのように支給するのか、その辺全ての子供が公平に扱えるような形で、その支給方法というのも今後検討していつてもらいたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、待機児童の解消についてお伺いしたいんですけども、香芝市では今まで国基準では待機児童はゼロという答弁っていうのをいつもよく聞かせていただいているんですけども、実際は遠くの保育所に送り迎えができない家庭もあり、待機児童というのは水面下では発生していると私は考えているんですけども、香芝市では令和5年4月から第2子以降の保育料の無償化を実施してまして、そのことによって待機児童が急増してしまっただけで元も子もないということでもありますので、その点についてどのように考えているのか、お伺いいたします。

○市長 待機児童についてでございますが、今年度4月1日時点で、国の基準で3名待機児童がいる状況でございます。議員ご指摘のように、特定の保育施設を希望し、申請をしながら入所ができていないという事例も数十件あるというふうに承知をしております。

それに対する対策ということでございますが、所信表明でも申し上げましたように、基本的には公立幼稚園及び公立保育所の再編等に関する基本方針に基づく再編等を進めまして、市立保育所等の果たすべき役割を明確に意識しつつ、既に本市でも実績を積み重ねてきた民間の力も生かしながら、市内における待機児童問題の解消を目指してまいりたいと考えてございます。

○中谷一輝 令和5年4月から香芝市は第2子以降の保育料を無償化していることによっ

て、これから市長が描いている子育て世代を香芝市に流入させていくというところであって、どんどんどんどん香芝市に引っ越してきてもらえばいいんですけれども、その時点で保育施設も少なく、待機児童で保育所に入れない、働くことができないということになってしまっただけはもうこれ意味がなくなってしまうので。ただ、それで保育施設をじゃあぼんぼんぼん建てたらいいんかって、そういうわけ言ってるわけでもないんで、その辺をしっかりと。例えば希望しているところでは行けないけれども、ちょっと離れてるけど、ここやったら空いている。じゃあ、そこまで、免許とか持っていない親御さんはどうしたらいいのかって、そういうこともきめ細かい支援ですね、考えていただければいいかと思えますので、よろしくお願いいたします。

続いて、やはり保育所がいっぱいあっても保育士が足りなければ、全くこれも意味がありませんので、現在保育士の人材確保についてはどこの自治体も保育士不足で困っております。香芝市では私立の保育士に対して2万円の補助を行っていますけれども、保育士の仕事というのはもう激務でございますので、職場環境の改善っていうのをしていかなければならないと考えます。保育士不足の解消は、やはり給料だけでもなく、いろんな多岐にわたる職場の仕事の環境、その改善が必要だと思いますけれども、いかがでしょうか。

○市長 そうですね。議員ご指摘のように、給与面だけに対する支援ではなくて、働き方の中で、例えば連絡帳を書く頻度であったりとか、細かいところに関しましても毎日のことが保育士の過度な負担になってるというような事例も聞いてございます。その点は随時適切に、適正な職務内容となるように見直しを加えてまいりたいと考えてございます。公立保育園に関しましては、そのように市のほうで判断できますけれども、民間のほうでは民間施設のほうで随時工夫をされるんだろうなという認識でございます。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

ぜひ、今現状で現場の保育士たちがどのように感じて、どのようなところを改善してもらいたいかって思っているのかっていうのを聞いていただいて、その辺を考慮した上で改善をしていってほしいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、学校や公園等の公有施設の有効活用についてどのように考えているのかをお伺いさせていただきます。

○市長 学校等の公有施設につきましてでございますが、学校再編に関しましては、今教育委員会のほうで出されている方針については一定の見直しが必要であるというふうに考えてございます。その上で、人口を増やす政策をして、学校もしっかりと受皿になって、子供を育てることができるまちなんですよということをしっかりと広報してまいりたいというふうに考えてございますので、今の学校施設の統廃合は必要ではないんだというような施策を先行して実施をしてまいりたいというふうに考えてございます。

○中谷一輝 じゃあ、公園のほうについてなんですけれども、例えば現在はほとんどの公園でボール遊び等が禁止となっているんですけれども、そのために道路でボール遊びをする子、禁止であるけれども公園で遊んでる子供たちがやはり見受けられます。公園であかんか

ら道路でボール遊びをしようかといったら、これやはり危険ですので、地域住民等の協力等も必要なんですけれども、やはり地域の公園でボール遊びができる公園とできない公園とすみ分けたり、そういったことも必要じゃないかと考えてるんですけど、いかがでしょうか。

○都市創造部長 以前から中谷議員さんからもそういったことで問合せもいただきまして、今後は自治会ともお話をするというような答弁も以前にさせていただいております。今ちょっと考えているのが、小さな街区公園を統合するとかというふうなことも含めて、どこかに大きな公園をつくって、そこをボール遊びできるようにとか、そういった形の公園全体の魅力を上げるような指針を今年度ちょっと考えていこうかなというふうに考えております。そういった部分で皆様のいろんなご意見をいただいた中で、この公園はどういった公園にするとかっていうふうに考えていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

これには、やはり地域の住民の協力であったり自治会協力、そして公園周辺の住民の協力とかもかなり必要となってくるところもあると思いますけれども、やはりそこは子育てしやすいまち、そういうことで香芝市として選んでもらうためにも、やはり皆さんにも協力を仰がないといけないかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、中項目の2ですね。お年寄りの安全安心な生活を保障について。

今までは比較的若いまちと言われてきた香芝市でありますけれども、着実に高齢化が進んできております。自家用車がなくても暮らせるまちづくりを目指すと思いますけれども、香芝市ではコミュニティバスやデマンドタクシーなどがありますけれども、これ民間事業者とのバランスっていうのはどのように考えて充実させていくのかをお伺いさせていただきます。

○市長 本市では、コミュニティバスやデマンドタクシーの運行により、市内交通の利便性の向上に取り組んでいるところでございます。一方で、本市域が旅客輸送の市場として十分に成立し得るのであれば、民間事業者による参入を積極的に促してまいりたいと考えてございます。

本市によるコミュニティバス等の運営については、そういった民間事業者による参入を阻害するようなものにならないように、運賃の設定等の場面において配慮することも必要であると考えているところでございます。一方で、現時点においては、既に運行されている鉄道や路線バスを除きまして、民間事業者による参入を期待することはなかなか難しいという認識をしておりますので、コミュニティバス等も市内交通を担う重要なものとして位置づけ、市民等の利用を促進してまいりたいと考えてございます。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

そのことについては、地域公共交通協議会でしたっけ、そちらのほうで、そこは民間事業者も入っておりますし、有識者も入ってますんで、しっかりと議論していただきたいとは思

いますけれども、やはりほかの地域と比べて遅れて高齢化がやってきますので、そのときに高齢者の免許返納とかを推進していくのであれば、その人の買物や病院に行ったりする足を不自由にさせてはいけないと考えていますので、民間事業を圧迫しないように、しかも効率よく、これはすごく大変だと思いますけれども、その辺はよろしく願いいたします。

ここに関してもう少し詳しくいきたかったですけれども、昨日木下議員のほうからいろいろありましたので、そのほかは割愛させていただきます。

次、中項目3の地元産業を大切にした地域活性化についてであります。

こちらのほうも少し昨日木下議員のほうから話はありましたけれども、まず最初にちょっと市長にお伺いしたいんですけれども、市内の商工振興について、これまで創業支援や補助金の支援など事業所に対する支援策がありましたけれども、現行の支援制度についてどのように進めていくのかをお伺いいたします。これ拡大していくのか、見直すのかということをお伺いさせていただきます。

○市長 現在の雇用促進であったり、創業支援であったり、そういった補助、支援制度があるということは承知をしております。現行の補助事業は、市内事業者の競争力の強化や技術力の向上、また雇用の創出など、地域経済の好循環と市民生活の向上に資する目的で実施をしております。また、市以外で、国や政府系金融機関における創業支援施策なども実施されているところでございます。本市としては、これらに加えて、独自の支援事業があるということの認知度を向上させていくことで、創業するなら香芝市を選んでいただくということにつながる取組が必要であるというふうに考えてございます。一方で、所信表明でも申し上げましたように、ただいたずらに補助や助成を漫然と行っていくということではなくて、これまでの施策の効果を検証しながら見直しを加え、必要であれば、減額や廃止も含めて、公金の使途の適正を図っていく方針でございます。

○中谷一輝 はい、そうですね。効果検証していただくのは今まで香芝市においてもやっておられたと思うんですけれども、やはり効果検証、その辺分析等がちょっと、もう少ししっかりとした研究が必要なんじゃないかなと私は感じているんですけれども。今、市長のほうからもあった認知度なんですけれども、やはり私も事業所に対しての各種補助金制度についてはまだ認知度が低いんじゃないかと感じているんですけれども。じゃあ、香芝市にもしっかりとこういう支援があるよというふうに周知していく方法ですね。今までではまだ低いと感じてるんですけど、今後どのように周知していくというお考えでしょうか。

○市長 まず、現在の周知方法でございますが、毎年年度初めに補助制度の内容をホームページや広報にて情報提供しているところでございます。また、紹介パンフレットを作成し、窓口や商工会を通じて事業所へ配布を行ってございます。

認知度が低いというところは私も否めないところであるかなというふうに感じておりまして、先ほども申し上げましたように、例えば国でも、また政府系金融機関でも補助等の支援制度が行われており、そちらの認知度は非常に高いものでございます。この香芝市を管轄するそういった国や政府系金融機関の窓口には本市のパンフレット等を設置をしていただい

たり、国や政府系金融機関の担当者に対して、本市においてはこういった支援施策がありますということも情報として共有をするなど図ることによって認知度を上げてまいりたいというふうに考えてございます。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

そうですね。いろんなところで、創業されてる方っていうのは、各自治体でいろんな支援策があるという、補助金等があるっていうのは周知していて、活用されるんですけども、初めて創業しようとしてる方っていうのは、基本的にそういったものというのはいくらでも自分らでやるものだと、そういった補助金なんてあることすら知らないっていう方がやはりちらほら見受けられます。そこで、私のほうとかでも、話があったら、いや、そういうのは国でも市でもいろんなところで補助がありますから一度調べてみたらというふうに言ってるんですけども、我々も議員としても、職員の皆さんもそうですけど、どっかでそういったことを聞かれたりしたら、しっかりと説明して、香芝市の窓口のほうに引っ張り込んでくることはしないといけないと思いますので、私も踏まえて、皆さんよろしく願いいたします。

商工のほうに聞きますけど、この各補助金の執行状況について現在どのようになっているのかをお伺いいたします。

○産業振興局長 現在の各補助金につきましては、どの事業も執行率は高いものと考えております。毎年の予算の範囲内で、平均80%の執行率となっております。

以上です。

○中谷一輝 じゃあ、この各補助制度の見直し等、執行率とか利用頻度とかを見て、見直し等、増額や減額等の検討っていうのはされていくんでしょうか。

○産業振興局長 補助制度につきましては、これまでも事業の進捗状況を確認いたしながら制度の変更や予算額の変更を行ってまいりました。今後におきましても、現行の補助事業の中でも申請が多いものや減少しているものもあることから、今後事業所の意見も伺いながら、予算ベースで拡大や縮小も検討してまいりたいと考えております。

以上です。

○中谷一輝 その辺はしっかり分析していただいて検討していただいたらいいと思うんですけども。やはり、よく使われる使いやすいのと使いにくい制度が存在してると思うんですけども、よりよく利用していただく、せっかくある制度ですんで、利用していただけるところは利用していただけるように、よろしく願いいたします。

次に、市内の主要駅前再開発について、これってざっと今のところどのように考えてるのかをお伺いさせていただきます。

○市長 市内の主要駅周辺におけます再開発についてでございますが、基本的には五位堂駅、近鉄下田駅、二上駅を念頭に置きまして、特に高さ制限、高度地区による規制につきましては、市が権限を有しているところでございますので、現行31メートルの高さ制限を緩和して、少なくとも45メートル程度への緩和を図ることによって再開発、民間事業者等による開発を促してまいりたいというふうに考えてございます。現状では高さ制限が31メートル

というところで、例えばマンション等でございましたら10階建て程度しか建てられないというふうに承知をしてございます。そうしましたら、31メートルの規制で10階建てのマンションを事業者が建てたいかという、決してそういうことではございませんで、10階程度の建築しかできないということであれば、そもそも建築自体を見合わせると、あるいは他市、他府県へ流出してしまっているという現状がございますので、そういった意味では、45メートル程度に緩和することによって十四、五階建てのマンションが建つ、あるいはマンションを建てる際にも1階、2階は商業施設として、複合的な施設として開発をしていくような仕組みを取ることによって駅前の活性化を図ってまいりたいというふうに考えてございます。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

その駅前の制限等があるために、今までずっとあって、もう建て替えないといけないというビルもあって。ただ、ここではいろんな制限があるから、もうどうしよう、もうここを売って出ていこかという、そんな話になってしまってるということもお聞きします。その辺の、やはりそこにおられる方、そこで開発しようとしてる方々の意見もしっかり聞いていただいて。ただ、やはり今までもそういった規制があったってということは、なぜ規制があったのかっていうことも考慮しながら、適切に行っていただきたいと思います。

続きまして、中項目の4番、鉄道・道路の利便性の向上については、1つは、昨日近鉄との協議は木下議員のほうがもうお聞きになったんで、割愛させていただきます。

都市計画道路について、何十年も進んでない計画もあり、これも都市計画道路ですんで、じゃあすぐに変えられるかというのは、そういうことではないとは思いますが、計画当初と現在では状況もいろいろ変わってきていると、そういうところもあると思いますけれども、優先順位の見直しや計画自体の見直しっていうのはどのように考えておられるのでしょうか。

○都市創造部長 香芝市街路整備プログラムで都市計画道路の整備順位などを示しております。現行の街路整備プログラムは平成28年に策定しておりますが、これまでの間に、国の交付金の措置率が低いことにより、計画に大きな影響が生じてございます。

現在、街路整備プログラムの策定に取り組んでおりまして、これまでの状況を踏まえ、現実的かつ計画的な整備計画を立案することを基本に、前回のプログラム以降の道路整備の事業進捗を整理し、改めて都市計画道路を評価した上でプログラムの取りまとめを行います。特に逢坂及び旭ヶ丘地区と関屋地区を結ぶ穴虫田尻線につきましては、関係地域における道路交通の利便性を大きく向上させるものでありまして、早期の事業着手を目指してまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

そうですね。そこはもう本当に早期にやっつけていかないと、高齢化率も上がってきてますし、その道路が完成することによって、先ほど言った公共交通等も発展していく可能性も

またありますので、その辺もしっかりよろしくお願いいたします。

次に、中項目の5番、あらゆる分野できめ細やかな行政を実現について。

スポーツ公園のプールはかなり遅れましたけれども、ようやく竣工のめどがつかしました。香芝市には長い間動いていなかった総合公園の計画もあります。

まずは、都市創造部にお伺いいたします。今年度の総合公園の基本構想を作成していると思いますけれども、その内容とその後のスケジュールについてお伺いさせていただきます。

○都市創造部長 基本構想では、地理地形や法規制などの条件整備、県内外の公園利用及び整備状況の動向把握、整備コンセプト及びゾーニングなどの検討立案を予定しております。この基本構想に基づきまして、来年度以降には基本計画の策定、そして関係機関協議などの調整を整えて、必要に応じて文化財や環境に係る調査、続いて測量設計を進める予定でございます。隣接する国道165号香芝柏原改良の事業進捗が大きく影響いたしますが、調整を重ねてまいりまして、令和10年度頃には工事に着手したいというふうに考えております。

以上でございます。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

そこは土地の取得等いろいろ時間もかかったり、165号線の道路拡幅の工事、国の事業に合わせてということで、今までずっと進んではいなかったんですけども、やはりあその計画もずっと止まったままになっています。ほんで、基本構想を今年度作成すると。ようやく僕も気にしていたところが動き出したなと感じていますので。今の答弁では令和10年に工事着手を目標としてやっていくということですので、その辺は今後も注視して、僕も総合公園に関しては見ていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

総合公園の整備内容についてなんですけれども、これ以前取られたアンケートの中でやはり皆さんが答えてるので多かったのは子供が遊べる公園っていうところが多かったと思うんですけれども、そういった公園になるのでしょうか。

○都市創造部長 香芝市みどりの基本計画では、公園の西側はどんづる峯をはじめとした周辺環境と調和し散策が楽しめる里山保全型の公園整備を行い、東側は子供が安心して遊べる場など市民ニーズを踏まえた整備の検討を行うとしております。

基本構想策定における市民ニーズの把握は、香芝市みどりの基本計画にて実施した市民アンケートの調査結果を踏まえて取りまとめを行います。導入する施設など具体的な整備内容については、来年度以降予定する基本計画の策定や詳細設計の段階にて定めることになります。こうした検討におきましては、地域で活動されている関係団体へのヒアリングなどを通じて意向を確認するなどして、市民の皆様に愛される公園の整備を目指してまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

今後、近隣の自治体からの人口の流入を目指すのであれば、やはりそういった子供が遊べる、近所の公園ではなく、大きな公園、すごい魅力的な公園っていうのがあれば選ばれる確

率も高くなってくると思いますので、そこは今年度基本構想をしっかりと練っていただきたいと思うんですけれども。やはり、ここってというのは、以前、多分アンケートだったのかな、アスレチック等があったらいいかとか。でも、あそこというのは石灰岩となってるんですけれども、その危険性というのはどうなんでしょうか。

○都市創造部長 今、中谷議員がおっしゃっていただいているのは西側のどんづる峯のほうの部分だと思いますんで、そこについては緑を残したままの散策が楽しめるような里山保全型というふうに考えておりまして、現在休止中のプール側ですね、あちら側についてはそういう場所ではないというふうに認識しておりますので、そういった部分のほうで子供さんが遊べるような部分を考えていきたいなというふうに考えております。

以上でございます。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

では、今後の香芝市、将来の香芝市では、あらゆる人に魅力的なまちとしていくと市長もおっしゃっていますので、しかも、さっきの質問等でもあった、自家用車がなくても生活できるってということなんで、もし総合公園っていうのがすごく魅力的なもので完成した場合には、やはりそこにはコミュニティバス等も連結させていって、自分の車で行かなくても、お年寄りの方、高齢の方もそこに行き、そういった自然の中で散策できるような形にしていってもらいたいと考えてますので、しっかりその辺検討のほうよろしく願いいたします。

次に、総合公園の防災上の位置づけについてはどうなってるんでしょうか。

○都市創造部長 香芝市地域防災計画では一時避難地として位置づけられております。また、現在本市には広域避難地の指定がないことから、その指定を視野に入れて、平野、今泉地区において事業を進めておりますスポーツ公園とともに総合公園の整備促進が示されております。同様に、香芝市国土強靱化地域計画においても都市公園緑地等事業を推進するなどして、広域避難地となる総合公園の整備を継続実施するとしております。したがって、総合公園は防災上の観点から重要な施設と位置づけております。

以上でございます。

○中谷一輝 そういった重要な位置づけの場所ならば、なおさらしっかりと早く進めていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

市長のほうはスポーツ公園の事業について示されていましたが、総合公園について特に示されてなかったと思います。今、担当部長にもお聞きしたところではございますが、長い間動いていなかった総合公園の計画がようやく事業に向けてスタートを切るところでありますけれども、市長の総合公園に対しての考えとかはどのようなものかをお伺いさせていただきます。

○市長 確かに、市長選挙の際におきましては、スポーツ公園について言及をしておりましたが、あくまで例示でございまして、この総合公園についても非常に関心を持って事業を進めてまいりたいというふうに考えてもでございます。

昭和54年に都市計画決定された総合公園につきまして、この一部区域でプール施設とし

て市民の皆様にご利用していただいておりますが、施設の老朽化もあって、現在は休止している状況が続いております。その間、事業用地の取得も進んでまいりましたことから、このたび全体にわたる基本構想の策定に着手しているところでございます。

子供が安心して遊べる場として整備の検討を行うこととしておりまして、私が掲げております公約の「子ども真ん中社会」の徹底推進、またお年寄りの安全・安心な遊びの場、憩いの場としても機能するものと承知をしておりまして、私の公約にも資するものであるというふうに考えてございます。事業の推進には社会資本整備総合交付金などの活用が不可欠であることから、国の動向に注視し、財源の確保、獲得に向けて取組を進めてまいりたいというふうにも考えてございます。

また、就任後早速ではございますけれども、隣接する国道165号の香芝柏原改良との事業の兼ね合いもございますので、国道事務所の所長とも挨拶を兼ねながら協議も実施をしたところでございます。その国道の香芝柏原改良の事業の中で、総合公園の東西をまたぐような道路も不可欠であることから、国費において、そういった道路、この総合公園を前提とする整備となるようにというような協議も実施したところでございまして、また国道165号の事業進捗も重要でございますことから、この事業の支障となっていた埋蔵文化財発掘調査につきましても、奈良県ではなくて、国費を100%充当した上で、本市教育委員会において実施するという調整をしたところでございます。そういった意味でも、総合公園の整備に向けて私自身もしっかりと事業進捗を図ってまいりたいというふうに考えているところでございます。

○中谷一輝 はい、よろしくお願いいたします。ここのもかなりしっかりとした計画で完成すれば、かなり魅力的な公園となると考えておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、防災に関しまして、市内の各自主防災組織において、昨日木下議員もありましたように、自主防災組織の底上げが必要なんじゃないかという話もありましたけれども、自主防災組織が避難所を運営していかなければならないと防災計画のほうにも明記されていきますので、そういった認識っていうのはどのくらい浸透しているのかをお伺いさせていただきます。

○市長 そうですね。地域や自治会によって防災に対する考えや意識に差があるものと承知をしてございますが、住民自らが行動してお互いに助け合い、協力しながら避難所を運営していくという認識は基本的にはお持ちいただいているのではないかとこのように考えております。

しかしながら、その意識も現時点では十分なものとは言えず、具体的な災害を想定した上での避難所の運営等の防災訓練が十分に実施されていないというような地域も多く、より高い意識を持って充実した取組を実施している自主防災組織とノウハウを共有するなどした上で、充実した取組を全市的に全市域に普及させていくことが重要であるというふうに考えてございます。

○中谷一輝 ありがとうございます。

昨日の答弁でもありましたように、自主防災組織、自治会によって意識の格差があると。私もそう思います。かなり熱心なところは熱心にされますし、避難所運営についても、災害が起きて避難所を開けるときは職員の方に来てもらって、それをちょっと手伝うぐらいだろうと考えておられる自治会もあると聞いていますけれども、大規模災害のときに、こういった災害があっては駄目なんですけれども、全避難所を開けないといけないってなったときには、やはり地域住民の協力も必要ですし、駆けつける職員も、これも被災者でありますので、職員にも身内、家族等ございまして、被災されていますので、全部が全部見れるわけではございません。そうなってくると、地域の住民、そして地域の自主防災組織が要となってくると思います。

災害時に避難所というのは、1つの避難所で複数の自治会が共有することになると思います。自治会同士でこれはある程度役割を決めていくっていうことが大切だと思いますけれども、どうお考えでしょうか。

○市長 避難所に指定されている施設のうち、まず学校施設につきましては、日常時のセキュリティの問題等もございまして、鍵の管理というところも慎重に取り扱う必要がございますが、ただ、鍵がなければ避難所の開設自体ができないという根本的な問題がある事態に陥りかねませんので、地域の自主防災組織とも協議を行いながら、鍵の管理を慎重にした上で、避難所の開設が円滑に行われるように、必要な体制を整備してまいりたいというふうに考えてございます。

また、1つの避難所で複数の自主防災組織が運営を共同でしていかなければいけないような場合もあるというところで、円滑な避難所の運営を図るという観点から、各自主防災組織が統率なく行動したり、基本的な事項について役割分担が行われていないというような事態に陥らないようにするということも大変重要な事項であると考えてございます。ただいま議員のご提案もいただきましたので、あらかじめ自主防災組織同士で役割分担ができるように、市としても一定の取組をしてまいりたいと考えているところでございます。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

そうですね。1つの避難所で複数の自治会が集まって、何も役割決まなくて、各自治会が勝手な行動して、運営側がそうってしまったら、避難所の運営というのはもうめちゃくちゃになっちゃいますんで、その辺役割分担というのがしっかり必要だと思うんですけれども。以前より僕が言ってるんですけれども、例えばここの避難所っていうのはここの自主防災組織、ここの避難所はここの自主防災組織がメインとなってやってくださいねっていうのは、これは自治会の総会とかで話しされてると思いますけれども、自治会同士でその話、やはり意識の格差もありますし、全く決まらないと思います。では、これは行政側がここの避難所はここの自主防災組織がやってくださいねっていうのを一旦決めてしまってから、各自主防災組織でまた話しされたほうがいいんじゃないかと考えるんですけれども、いかがでしょうか。

○市長 複数の自主防災組織が関係しますので、それぞれの組織のご意見や考えを十分に

聞いた上で決めていく必要があるものと考えますけれども、議員お述べのような問題に対しても対処していく必要があるとも考えますので、行政が主導して自主防災組織同士の役割を分担していくということも必要であるというふうに考えてございます。先ほど申し上げたような避難所の運営等のノウハウがない自主防災組織もございますので、そちらと併せながら取り組んでまいりたいと考えてございます。

○中谷一輝 はい、よろしくお願いいたします。災害っていうのはいつ起こるか分かりませんので、そういったことはもうできるだけ早急に行っていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

では、避難所の開設について、鍵についてお伺いここでしょうかなと思ってたんですけど、先ほど答弁で述べられましたので、鍵の管理っていうのはやはりセキュリティー上いろいろ問題はあると思いますけれども、災害が起きたときに、先ほども申しましたように、職員の方もやはり被災者でありますので、そのときに協力していただく自主防災組織、地域の方々が避難所行った、でも鍵がないから開けられない、でも職員待っても、職員も被災されてる、来ない、いや、もうこれじゃ元も子もありませんので、その辺もしっかり踏まえて、鍵の管理等もよろしくお願いいたします。

このような今までいろいろ質問させていただきましたけど、様々な事業を行うためには、やはり財源確保というようなことについては大切だと思っていますけれども、その点についてはどのように考えておられますか。

○市長 財源確保につきましては大変重要な課題でございます。個人住民税を主要な税収の柱としている本市におきましては、税収等による財源の有効的な活用を心がけ、今後複雑多様化する市民ニーズに対しては、限られた予算や人員などの資源を適切に配分していくということが必要であるというふうに考えてございます。

今後も、国、県等の補助金を活用することなどにより財源を確保していくとともに、既存事業におきましては、行政評価により個々の事業を精査した上で事業の方向性を決定し、スクラップ・アンド・ビルドを進めることで業務の最適化、改善につなげて、財源を効率的に配分をしてまいりたいと考えてございます。

また、人口をしっかりと増やしていくという政策を展開していくことで、長期的なスパンにはなりますが、そういったところでも自主財源の獲得にも努めてまいりたいというふうに考えてございます。

○中谷一輝 はい、ありがとうございます。

今おっしゃいましたスクラップ・アンド・ビルド、ここはすごく大切だと思うんですけれども、やはり今ある事業でもしっかりと効果も検証していただきまして、先ほどの補助事業でもそうですけれども、利用率が高い、みんなのニーズがあるものに関しては増額していく。しかし、なかなか使いにくい、使われにくいというのは、使いやすいように改善するか、もしくは違う形の支援策に回す、こういったスクラップ・アンド・ビルドというのは非常に大切だと思います。今までずっとやってきたからとかというのではなく、今のニーズ、これ

からのニーズに合わせたものについてやっていってもらいたいんですけれども、思い切って、勇気を持ってスクラップの部分を選んでいってもらいたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

最後に、職員の資質向上についてお伺いしたいんですけれども、三橋市長におかれましては、いろんなことの研修等、職員の研修等を行い、資質を向上させようということもお話されてたと思うんですけれども、昨年度なんですけれども、個人情報の漏えいっていうのがもうかなりありました。ほかの自治体がどれぐらいあるかというのは調べてないんですけれども、一般企業で考えれば、もうあり得ないぐらいあったと思います。市長の就任後も立て続けに2件ぽんぽんとありましたけれども、やはりそこでは一般企業と比べたら意識が低いんじゃないかなと感じてしまうところでもありますけれども、そのことについてはどうお考えでしょうか。

○市長 まず、私、就任前の分も含めましてですけれども、個人情報の漏えい等が連続して発生していることにつきましては、関係者及び市民の皆様に大変ご迷惑をおかけしておりますことをおわび申し上げたいと思います。

今年度に入ってから個人情報の漏えい等の連続した発生につきましては、私就任前の5月31日に副市長名で全職員に対して、関係法令の確認と一連の事案を一人一人が重く受け止めること、また再発防止に強い意志を持って臨むようにという旨を通知をしてございます。

インシデントの原因となったのは、入力ミスやダブルチェックの未実施などでございます。慌ただしい事務がふくそうする中であっても、一つ一つの地道な確認が個人情報の漏えいの防止につながるという点を所属長を通じて課員に浸透させ、職員の意識の醸成を図ってまいりたいというふうに思いますが、ただ意識喚起だけでは私も限界があるというふうに感じているところでございます。

議員各位の中にも、例えば金融関係のお仕事をなされていた方もいらっしゃると思います。私も銀行員として職務を経験してきたところでもございます。それと比べますと、今の香芝市役所の中で個人情報の管理が適切になされているかという点については、やはりほかの金融機関等の優れた管理を行っているところを見習うような取組が必要ではないかというふうに感じてございます。単なる意識喚起で終わらせるのではなくて、仕組みとして個人情報が漏えいしないようにすると。また、職員が人事異動で替わったとしても、誰が行ったとしても個人情報が漏えいしないというような事務を徹底していく必要があると認識してございます。

就任後早速、私の出身でもございます株式会社南都銀行にも打診をいたしまして、そういった事務処理、郵便物一つ発送するに当たりまして、こういったチェックを行いながらしているのかというところについて、職員の研修の受入れの打診をしたところでございます。快いお返事をいただいておりますが、今後そういった研修の中身をしっかりと構築した上で、個人情報の漏えい事案が発生しないような、そういった根本的な仕組みづくりと職員の

教育をしっかりとしまいたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

○中谷一輝 ありがとうございます。

確かに、ヒューマンエラーといえはヒューマンエラーですけれども、やはりそこはエラーを起こしてはいけない個人情報っていうことなんで、私も民間にいてるときに個人情報を扱ってました。各営業マンが個人情報を扱っていますけれども、全国でその営業マンがじゃあ何人いてるんでって、何千人もいます。年に1件発生するか、しないか。もう、したらえらいことっていうそういう意識の中で一人一人が個人情報を管理してましたので、やはりこのことに関しては、今市長がおっしゃったように、民間のところのことは見て学んで、しっかりとそれを取り入れていっていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

私もそうですし、新市長もそうなんですけれども、香芝市が少しでもよくなるようにっていう思いは同じだと思いますので、未来を見据えた行政運営をお願いいたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。